第3回 浅川流域連絡会

議 事 録

平成 21 年 2 月 20 日

東京都 南多摩西部建設事務所

【第3回 浅川流域連絡会】議事録

開催日時 : 平成21年 2月20日(金) 18時30分 ~ 20時30分
会 場 : 東京都 南多摩西部建設事務所 4階会議室

1 開 会

事務局

皆さんこんばんは、それでは『第3回浅川流域連絡会』を始めさせていただきます。

本日は皆様お忙しい所ありがとうございます。事務局の南多摩西部建設事務所(以降、“南西建”と表記)工事課工務係です。宜しくお願いします。

最初に2, 3点の報告とお願いをしたいと思います。

出席委員の確認をさせていただきます。本日は事前に1名の市民委員からは欠席の連絡がありました。只今の出席状況は都民委員が18人の内11人出席、行政委員は7人全員出席です。合計で座長を含めて26人の内19人出席です。

都民委員の団体登録として『エコネットワーク八王子』という団体がありましたが、昨年解散したので委員を辞退されました事をご報告させていただきます。

議事録を作成します関係で、録音をさせて頂いております。予めご了承頂きたいと思っております。

本日の会議終了時刻につきましては、8時位を目処に考えておりますのでご協力をお願いします。

では、早速議事に移りたいと思いますので、座長に進行をお任せしたいと思います。

2 議 事

(1)平成20年度浅川流域連絡会の活動報告について

座長

『第3回浅川流域連絡会』という事で、委員の皆様宜しくお願いしたいと思います。

では、レジメに従いまして、『(1)平成20年度浅川流域連絡会の活動報告について』という事で、事務局から宜しくお願いします。

事務局

座ったまま説明させていただきます。宜しくお願い致します。

議事(1)についてですが、昨年東京都建設局に於きまして14番目の『流域連絡会』として発足致しまして、『第1回浅川流域連絡会』を3月19日に開催致しました。議事内容につきましては時間の都合上割愛させていただきます。

平成20年度の活動報告としまして、6月18日に『第2回浅川流域連絡会』を開催致しました。議事内容としましては、

(1)平成20年度工事予定箇所概要説明

- ・国土交通省京浜河川事務所 - 浅川の工事概要説明
- ・東京都 - 谷地川, 浅川, 山入川, 湯殿川の4河川の工事概要説明
- ・委員の方からは「護岸整備の必要性や護岸の構造等は、生物の良好な生育等の環境を十分に配慮した上での事業なのか」「この『流域連絡会』はこれからの工事にどの様に反映されていくのか」等の意見を頂いた。

(2)今後の浅川流域連絡会スケジュールについて

- ・『第1回フィールドワーク』のテーマとして“緩傾斜型護岸等親水空間と良好な自然環境の保全、水際植生の創出した河川”
- ・『第2回フィールドワーク』のテーマとして“生物応援機能を確保するための河川”

(3)『第3回浅川流域連絡会』について

- ・『第3回浅川流域連絡会』では今までの活動のまとめを行うという提案をした。
- ・委員の皆様に次の様な意見を頂いた。
- ・フィールドワークの回数を減らして、委員会の回数を増やしたほうがよいのではないか。
- ・『第3回浅川流域連絡会』は時間を多くとるべきではないか。
- ・フィールドワークについては総合的治水の観点から実施を検討してほしい。
- ・フィールドワークは川の流量の少ない渇水期に実施すべきではないか。

続いて、9月5日に『第1回フィールドワーク』を開催致しました。

(1)『第1回フィールドワーク』コース説明

(2)意見交換会について

- ・委員の皆様に次の様な意見を頂いた。
- ・流域の住民や市民団体, 関係自治体が一体となって、どのような川が理想的なのかを考える必要がある。
- ・谷地川について、排出されている管の処理をしてほしい。
- ・湯殿川について、落差工の端部の処理が景観上好ましくない。
- ・河川に下りる階段について、もう少し考えて設置したほうがよい。
- ・今後、旧川を利用しての川づくりが考えられるため、是非のそのまま残してほしい。

- ・自然保護や環境に関心の高い人達と意見交換をしながら、河川改修をするべきである。

続いて、12月4日に『第2回フィールドワーク』を開催致しました。

(1) 『第2回フィールドワーク』コース説明

(2) 意見交換会について

- ・委員の皆様に次の様な意見を頂いた。
- ・八王子市内の源流域にはそのまま自然が残された河川がたくさんある。
- ・川口川の上流域の様に、整備が行われていても自然に配慮した河川もある。
- ・叶谷の湧水については、地域の住民が利用している姿が見られ、ああいう風景は大切にすべきである。
- ・河川の清掃等の管理については、地域住民が中心となって体制作りをすることが大事であるとともに、行政が方針を示してお互いに意見交換しながら、川によい環境作りをしていくことが大事である。

以上、簡単ですが活動報告をさせていただきました。

委員の皆様方と川の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史、文化との調和にも配慮し、川が本来有している生物の生息生域、繁殖環境ならびに多様な川の風景の保全あるいは創出していくため、今後『浅川流域連絡会』の中で情報や意見を交換していくことが大切であると考えています。

座長

活動報告ということで、事務局からしていただきましたが、議事録を読み上げれば報告にはなるとは思いますが、用紙1～2枚程度にまとめられた概要版のようなものがあると、もっと判りやすくなるのではと思いました。

事務局

座長からお話がありましたようなものについては、今年度の活動報告書に入れ込むことを検討したいと思います。

完成しましたら、委員の皆様にもお送りしたいと思います。

(2) 今後の浅川流域連絡会の進め方

座長

報告書ということでまとめるということですので、宜しくお願い致します。

では、『(2)今後の浅川流域連絡会の進め方』という事で、事務局から宜しく願います。

事務局

浅川流域の河川は古くから生活用水や農業用水、子供たちの遊び場として流域に住む人々の生活を支える等重要な役割を果たしてきたが、流域の急速な市街化や土地利用の構造化に伴い水質の悪化や流量の減少等により、人々を川から遠ざけることになったと考えます。このような現状において、洪水に対して安全な治水対策を進めつつ、いかに良好な河川環境を保全、回復し、また生物の生息、生育する場を確保していくかが今後の重要な課題であると考えます。

委員の皆様にはこれから『浅川流域連絡会』をどのように進めていくかについて、本日意見交換をして頂きたいと考えております。参考になるかはわかりませんが、事務局より浅川圏域の現況について説明させていただきます。

- ・浅川圏域を地域別に分類しますと、豊かな自然環境が残る山地の地域、市街化が急速に進行している丘陵地域、すでに市街化されている平地地域の3つになるかと思えます。
- ・整備済みの護岸は転落防止柵が設置されていて容易に水面に近づくことはできない箇所もあります。
- ・南浅川等のように遊歩道や散策路が整備されている区間では、川を眺めながら散歩や観察、ジョギング、サイクリング等を楽しむことのできる憩いの場として活用されている所もあります。
- ・また、各河川では市民が主催する河川清掃デー等の風景も見受けられます。
- ・川の水量についてですが、浅川や南浅川等は他の河川と比較して水量は多いが、年平均水量の増減は大きく、水量が安定していない点が特徴であると言えます。
- ・水質ですが、八王子市、日野市で観測しているデータを見ますと、環境基準を満足している地点が浅川と城山川、湯殿川にあるが水質改善の促進が必要と考えられる河川もあります。
- ・川に生息する生物ですが、魚類についてはヤマメ、イwana、ウグイ、アブラハヤ等を確認しています。
- ・植物についてはナラコスゲ、セキショウ、ヒメウツギ、ミゾソバ等を確認しています。
- ・鳥類についてはカワセミ、マガモ、カルガモ等を確認しています。

以上、簡単に説明させていただきましたが、地域に即した親しめる川づくりの実現に向けて委員の皆様積極的に取り組んで頂きますことをお願いしたいと思います。

座長

事務局より現状の大まかな特徴と地域に根付いた川づくりということで、市民が参画しやすくするために、これからの2年目の活動について委員の皆様にご意見を頂きたいという事でしたので、宜しくお願い致します。

事務局からは市民の側から「こういった形でやっていこう」「こういう活動をしていきたいので事務局としてフォローをお願いしたい」といった事もこの場で提案して頂きたいとの事でしたので、忌憚のないご意見を皆様から頂きたいと思っております。

市民委員

2点ほど提案させていただきます。1点目は、先日環境診断士の集いに行った際に、東大学院で気象学を専門に研究している方が、最近の集中豪雨が頻発している状況下では浅川は非常に危険であるというお話をされておりました。そういった情報はこちらにも入っているのでしょうか。

2点目は、今までの議事録を出して頂きましたが、これでは単に皆さんがこの様な発言をされましたという事で終わってしまっている。この議事録を受けて行政側がどのように動いたという事が肝心なので、その辺のことがわかる資料を提供していただければと考えています。

座長

議事内容の趣旨をもう少し明確に捕らえるためのご意見だと思います。事務局の皆さんも今のご意見に対しては理解して頂けたでしょうか。

事務局

はい。先程活動報告でも申し上げましたように、今年度の『流域連絡会』『フィールドワーク』で委員の皆様からたくさんの意見を頂いております。

例えば階段のあり方や河川整備の方法などについてご意見を反映させながらどの様にやっていくかが行政側の課題であると考えています。意見を聞いたからこれでお終りという事ではなく、今後検討していく課題だと捕らえています。

今年頂いたご意見に対しての対応については、現在事務局内で検討しているところですので、すぐにこの場で回答するという事はできないという事をご理解頂きたいと思っております。

市民委員

要はせっかく皆さんからでた意見がある訳ですから、それに対してできる事、できない事もあるとは思いますが、それに対してどの様に解決に向かって取り組んでいるのかという事について教えて頂きたいと考えています。何事もやりっ放し、聞きっ放しが一番いけないと思っております。

市民委員

今の意見についてはその通りだと思いますが、委員からの意見の中にも思いついた事を発言しているだけというものも多いですし、1つの意見や提案に対して賛成意見や反対意見もちゃんと出されていない状況の中で、行政側からも今の様な回答しかないのではないかと思います。1つ1つの意見に対して行政はこう取り組んでいますという様なことまでこの会議で言う必要はないと私は感じています。

委員の側でも意見を出す際にはその根拠についてはっきり示すであるとか、行政側でも実際は色々な所から様々な要望が出されていると思いますし、税金を使って限られた予算の中で行う訳ですから、「その様な意見を出されても現実はこうです」というような正直な回答をしてもらい、そういった中でもう少し気長に議論をしていくのがよいと考えるのですが、まだその段階までいっていないのではないかと思います。

市民委員

我々は浅川圏域を良くしようと思って意見を言っている訳です。その辺はもう少し真剣に聞いてほしいという意味で提案したのですが。

事務局

市民委員の発言の中に行政からの意見という事がありました。

2回実施しました『フィールドワーク』の中でも、例えば護岸について、これまでは緑化ブロックを用いて護岸整備を行ってきた訳ですが、樹木の管理や夏場にボウフラが発生する等の問題があったので、擬岩ブロックに推移したという経緯について現地で説明させて頂きました。その説明に対して「生えるものは生えるので、外来種であろうとそこに緑があることが大切なのだ」というご意見の方もいましたし、「一定の景観を保つ事を考慮した上でブロックを選択すべきである」という意見の方もいました。

これは護岸ブロックという一例に過ぎませんが、こういった事について委員の皆様から「こうした方が良いのではないか」といった意見を出して頂き、それについて「行政側ではこうである」という意見はきちんと述べさせて頂きたいと考えておりますが、色々な意見は頂いておりますが、市民委員の発言にもありましたように、「行政としてどうすべき」という段階まではまだ十分に議論が煮詰まっていない気がしますので、今回の時点ではこの様な回答でご勘弁願いたいと考えています。

また階段につきましても、これまでの整備の経緯等もありますので、ただ単に水に触れあえる階段を作れば良いというコンセプトで作ったものもあれば、湯殿川のように旧川敷を極力利用して、人工的なものより自然を残した緩傾斜のものもあり、行政としても試行錯誤している所です。2回のフィールドワークで見て頂いた箇所や他の河川での事例等を参考にしながら、浅川ではどのような階段が良いのか、また、先程事務局から説明があったように浅川といっても上流、中流、下流で整備の方法も違ってくるのではないかと考え

ておりますので、その様な事を踏まえまして皆様に議論を深めていって頂ければと考えております。

市民委員

今のご意見の補足といえますか、今回のフィールドワークの報告にあたり、詳細な議事録が配布され、事務局からも詳細な経緯を説明して頂きました。ただ、会議で議論をする場合には、ポイントはここであるという事を示した資料を事務局で1～2枚用意して頂ければ委員からの意見の趣旨も、行政の対応も検討中ならそう記載して頂ければ判り易くなると思いますので、事務局にはそういった資料を次の会議には用意する事を了解して頂いた上で、時間も限られている事ですので、次に進む事を提案致します。

座長

今年度は出された意見が1つの所にまとまるかは別として、委員の皆様から自由に意見を出して頂く事をテーマに会議を行ってきました。

今後は、例えば今年はあと4回『流域連絡会』が開催されるとして、「次回はこういったテーマで議論を行っていきたい」というご意見を出して頂ければ、他の委員の方からも「そういうテーマであれば私達はこれまでこういった活動をしてきたので、事前に事務局と相談したい」という意見が出る事も考えられますし、その様な意見が出されれば事務局としても今後の『流域連絡会』の骨組みを作り易いと思います。いかがでしょうか。

市民委員

大きくテーマを決めてという事もあると思うのですが、現実には河川工事は日々進んでいる訳です。作られていく河川の中で我々の意見がどの様に反映されているかが一番重要な事だと思います。

そこで提案なのですが、行政側から今後どこでどの様な河川工事が行われて、そのどの部分で議論が必要なのかについて示して頂く事はできないでしょうか。

次回の『浅川部会』では、今まで出た意見を取りまとめたものを配って頂けるという事ですが、行政側として「この意見はこのまま鵜呑みにはできない」というものもあるでしょうし、「なるほどこの意見は取り入れてみよう」という意見もあるかもしれません。そういった差し迫った問題を提起してもらって、それについてこの場で意見を深め、必要によっては我々の手で検証していくといった活動にしていけないと、市民委員の発言にもあった様にちょっと気がついたので指摘してみたといった意見も結構あると思いますので、もう少し具体性を持たせた議論、実際に計画のある河川工事に反映されるような議論を行っていくべきなのではないかと考えています。

市民委員

私は、この『流域連絡会』の趣旨として川づくりをどうしていくべきか、ひいては河川流域を含めた街づくりをどうしていくべきかという事で理解しています。まだ限られた河川しか見ていませんが、やはり大きなテーマは川づくりと街づくりだと考えています。その中にも色々なテーマがあるので中々難しいとは思いますが、例えば先程から出ております上流、中流、下流に区分して議論していく事も方法の1つですし、ある河川をモデル河川として話し合いをしていくことも1つの方法だと思えます。また、流域を含めて考えてどうすれば地域の方々に川に関心を持ってもらえるのかといった事もありだと思えます。

つまり問題を絞って考えなければ、色々意見を出してもまとまらないのではないかと考えるのです。また、みんなで議論するのもいいのですが、グループに分けて事務局の方にも入って頂いて、そこで議論したものを全体会議に持ち寄って議論する方法もあると考えています。

事務局

浅川流域連絡会のテーマについては3つ程あると考えております。1つ目は「河川の整備と管理について」です。2つ目は「河川の環境と歴史・文化について」です。3つ目は「街づくりと河川の関わりについて」です。

市民委員からご意見のありました分科会について他の『流域連絡会』の事例を申し上げますと、例えば水質や植物の班といったものから、河川のモデルケースについて検討する班や河川についてテーマに基づいたマップを作成する活動をする班といったものもあります。今後『浅川流域連絡会』についてはどのような形で運営されていくのが望ましいのかについてもご意見を頂きたいと思っております。

私は『流域連絡会』は河川工事について議論する場とは違うと考えております。

市民委員

フィールドワークについて私は大きな川から見て歩くのかと考えていたのですが、比較的小さな川から見ていったような気がします。非常に勉強にはなったのですが、我々としてはまずは主流となる浅川を見てもらいたいと考えています。浅川は小・中学校の校歌にも必ず出てくる程ですし、本来であれば、京都に鴨川があるのと同じような認識で八王子には浅川があると思って然るべきなのです。ところが八王子市民は浅川を粗末に扱って抜け道として利用したり、ゴミを捨ててしまったりしています。ですからまずは浅川の現状を見て頂いて皆さんに考えてもらいたいと思えます。

小さい川でもそうなのですが、まずは住民の方々の意見を聞くことが大事だと考えます。我々はあくまで外から見ているだけなので、実際に住んでいる人がどう感じているかが大事ではないかと思えます。

座長

『流域連絡会』全体であるテーマについて議論していくというやり方にするのか、分科会に分けて各班でテーマを絞り込んで、もう少し深く掘り下げて議論したものを全体の場に持ち寄るといったやり方にするのかといった事が提起されたと思うのですが、その点に関して他の委員のご意見はいかがでしょうか。

市民委員

浅川流域の河川は昔から管理者が3者に分かれています。まず地元の市町村、次に国土交通省の直轄河川、それと東京都の管理河川です。そのせいかは判りませんが、各河川に関する連絡や情報共有がどの様になっているのかが、我々市民からは見え難い所がある様な気がします。

分科会に分けるとするのは良いと思うのですが、各班に各管理者の行政の方にも入って頂けたら更に良いのでは考えています。かなり前になるのですが、上流域と下流域の行政と住民が一緒になって、国土交通省が出してくれたバスで浅川流域の色々な河川を回った事があります。とても楽しかったですし。その後の意見交換会でもこちらの知らなかった事を色々教えてもらったり、逆にこちらが日頃思っている事を伝える事ができたりと、とても有意義でした。浅川流域はとても広大ですので、上流部と下流部の行政や市民と一緒に議論するのが良いと思います。

市民委員

話の論点があちこちに飛んでしまっている様な気がしますが、私はまだ分科会にするとかを話し合う以前の段階なのではないかと思えます。皆さんで集まって浅川圏域について色々な事を見ていこうという事はそれはそれで有効な事だとは思いますが、皆さんの間にある程度の共通認識がなくてはいけないと考えています。そういった事で前回の『意見交換会』の際に「『多自然川づくり』からみんなで勉強していきませんか」という提案をさせて頂いたのですが、河川整備に関しても浅川本川には『多摩川水系河川整備計画』がありますし、他の河川については『浅川圏域河川整備計画』がありますので、その確認はしなくてはならないと考えています。

行政はこれらに沿って河川整備を進めていく訳ですが、我々があれっと思う整備であっても河川整備計画にはその様に書かれていると読めなくもないといった事が多々ありました。行政が河川整備計画を基本に河川整備を行っている以上、我々がそれにそぐわない様な要望をいくら出しても聞き入れてもらえないという事になります。ですので、これについては皆さんで勉強をして共通認識として持っておく必要があると思います。

市民委員

かつては河川工事があると、我々市民はその管理者の行政毎に「こうしてほしい」とい

う要望を出さねばならず、またあまり聞いてもらえないのが現状でした。時代が変わるにつれて河川法も改定され、法律の中に環境の考え方が入ってきたりしました。そしてこの『浅川流域連絡会』には浅川圏域に関わる国，東京都，八王子市，日野市の流域市町村が一同に集まる訳です。行政側にとっても他の行政がどのような考えを持っているかを知る事のできる重要な場所であると思います。

その中でまずは川を知るという事で、まだまだ足りないとは思いますが『フィールドワーク』が行われました。その場ではやはり重要な事もそうでない事も含めて様々な意見が出たと思いますので、まずはそれらを判り易い形で書き出してもらって、それを見て話し合うテーマを絞って議論していくのが重要であり、分科会についてはその先の話になるのではないかと考えます。

市民として最も不満がありかつ関心があるのは、やはり河川工事だと思います。今まであまりにも環境に関して配慮してこなかったが、環境が重要視される時代になって、例えば護岸ブロックの件に関しても我々は緑化ブロックを使うことは一歩前進と考えていたのに、東京都はそれをやめてしまうという事で、それ一つをとってみても十分に話し合う価値はある事だと思います。

浅川圏域に関わる行政と市民が一同に集まるといった場所は他にはないので、この『浅川流域連絡会』を大切にしていって、それぞれの出席者がそれぞれの立場から様々な意見を出し合って浅川を良くしていければよいと思います。現時点はそのスタート段階だと思います。実りある話し合いをするためにも、前回の部会での話し合いの要旨をまとめた資料を事務局には作成して頂きたいと思います。

座長

他にご意見はありますか。

市民委員

2点程あるのですが、先ずこの会の開催回数についてですが、年間2回程度であまり多いとはいえないので、意見を言う回数にも限度があるので、一つ一つの意見の内容を良く考えた上で、極力吸い取って頂きたいと思います。

それからテーマの一つでもある街づくりに関してですが、八王子市には色々な川が流れているのですが、市街地には水路の様な殺風景な造りの川しか流れていません。その様な河川の対策について八王子市の行政はどの様に考えているのでしょうか。

座長

来年度の『流域連絡会』の活動についての議論の流れからは多少外れてしまっていますが、せっかくですので八王子市から何か回答はありますか。

行政委員

今お話にあったのは多分山田川の事だと思うのですが、厳密に言えば東京都の管理河川にはなるのですが、山田川に関して戦後からの経緯を見れば、駅前の区画整備を戦災の影響で行ったのが国道16号より東側、黄金橋より上流の地区に関してはスプロールされた地域でその真ん中を山田川が今では都市下水路の様に流れているイメージです。周辺が拡幅できない状況であり、堆積もしてきているので氾濫も多少起こる様になってしまっています。

街づくりについての位置付けという事でご質問がありましたが、やはり浅川本川を治水だけではなく環境や活用に配慮したものにしたいという要望が多く寄せられており、市としては市民の皆さんと国や東京都とのパイプ役だと認識しておりますので、国や都が河川整備を行う際には市民の皆さんの意見が極力反映されるよう働きかけをしていきたいと考えております。

座長

来年度の『流域連絡会』の活動について他にご意見がありますか。

市民委員

『河川整備計画』について、『浅川流域連絡会』は国土交通省、東京都、八王子市、日野市の各行政が出席している会議であり、各行政官でどの様な連携をして『河川整備計画』を市民レベルまで周知させるのが望ましいのかについても検討できる良い場所であると考えます。抽象的な意見になってしまい申し訳ありません。

座長

皆さんの意見も大体今まで出された意見とほぼ同意見と考えてよろしいでしょうか。

私がまとめる立場ではないのかも知れませんが、この全体の会を中心としてテーマを決めて議論していきましょう。そして、分科会については現時点では尚早ということであったと思います。

では会議で話し合うテーマについては、どこで誰がどの様に決めていくのかという事ですが、今何を言いたいかって言うと、皆さんの意見を早めのところでどんどんこう入れていきたいなというふうに思っているのが、今の事務局なんだと思います。なんて言うのかな。まっすぐにこう意見を聞いていくとですね、事務局があらかじめ前もってデスクワークで次回こういう感じで行こうよ、次はこういう風に行こうよ、年間スケジュールも事務局で叩き台って言うか、まあだいたいこんなので行こうよという形もあるのだろうと思うし、皆さんが、いや1回目、2回目、3回目、こんな形のこんな流れで今年はじゃあ整備計画を主体にもう行こうよとあって、なんかね、そういう意見をどこでどの場で、こう皆さんの意見を入れて、なんて言うのかな、実のあるこの場にしていこうというのが主旨

の一つなんです、実は。

多くの市民が私も含めて時間はそんなに取れない。本当に会の前は別の事をやっていて、また会が終われば終わったで明日は別の事をやるっていうのが、現役の私なんかの人生なんですけれど。その中でいったいどうしたら実になるテーマを自主的に選び出して、それを効果的な議論でできるかっていうことのアイディアがありましたらおっしゃって頂ければと思います。

市民委員

先ほども申し上げましたけれども、本来でしたらね、我々が今まで4回、これまでやってきた活動の中から、我々の意見が集約され、その中で行政側から見た時に、どうもこのところは腑に落ちない、皆さんはこうおっしゃるけれども、どうもこれから工事を進めていく上でちょっとこの意見は障害になるという様な事だとか、あるいは本当にそうなんですかねという様な事があるんじゃないかと思うんですね。

我々が思いつきで言っているのはけっこう多うございますから。そういうようなものを本来はこの今日の会議の場でね、この間これまでやってきたフィールドワークなり、それから会議の中で出た意見の中で、これはどうもいけないと、わからんと。だけど問題としてはこれが解決しないととんでもないことになる、あるいは大きな事に発展しかねないと。そういう問題提起をそちら側から出してもらってですね、それについてまず本来は今日やって、その答えを出すためにそれじゃあ分科会を作ろうとか、あるいはもう一度フィールドに出て行って検証してみようとか、あるいは地域の皆さんに意見を聞いてみようとか、そういうのだと課題が浮かび上がってくるんだらうと思うんですよ。

それがね、我々が出した意見を具体的に進めていくということではないかと思えますね。今まで4回の中で我々、4回、3回か。まあ我々の活動の中で出てきたいろんな問題、あるいは意見、これの中から行政側としてここをひとつまず問題にして、それぞれ詰めていってもらえないかという様な事っていうのはないんですかね。

座長

施策的な、司会的な意見で、意見を整理なさったらどうでしょうかという、事務局に対する問い合わせですけれども。はい、どうぞ。

市民委員

同じ様なことなんですけれども、これはもう決定しているけど、一応みんなの意見を聞いてるよという様な事では、何もならないと思えますので。違っていたとしてもなるほどそういう考え方もあったか、そういう方もあったかというようなことで、かなりフリーな動きを行政の方にもしていただきたいなと思えます。多分今だったらそういうことも可能じゃないんでしょうか、今の時期は。どうでしょう。

市民委員

先程の市民委員もおっしゃった事なんですけれども、普通は企業とかだったらですね、こういう4回いろんな会議をやったり、外ね、現地を見に行ったらまとめに入ると言うんですけれども、まとめというか、どういう意見が大きな問題をはらんでいるかというような事をやっぱり形成法とかですね、普通はまとめのやり方でもってまとめとるんですよ。ただそれを行政の方がどの様にそれを使いながらね、どういう川作りをしたらいいかねっという方向に持っていくかどうかだと言うんですよ。

いろんな意見が出たのに、もう言いつばなし聞きつばなしで終わるのか、それともまとめてこれはやっぱり自分ら課題だよなっってもう少し深掘りしようという方向に持って行こうよと、これ分かれ目だと思うんですよ。それをこの連絡会が中心となって、皆さん方の意見を聞いたり、先ほどからも出ていますけれども、我々だけじゃあ地域の住民のいろいろな意見を聞かなければいけないところも出てくるんでしょうね。だからその分かれ目のところをさらに踏み込むかどうかなんですよ。

重要な内容をいわゆるアイテムズして、それを本当に真剣に議論しようよということだと、多自然型の川をつくろうよと言ったら多自然型はなんだろうから始まりますよね。それでどういう形でいいのかしらって言ったら、成功事例を見に行こうよとかいろんな話になってくると言うんで、それがまず本当に4回やったんで、4回の意見を少しくまとめると言うことが一番最初だなと思いますけれども。

市民委員

最初に申し上げたようにね、なぜ本流にまず手をつけないのか、国土省の方もいらしてるわけですね。だけどこれ東京都が主体になって動いているから小さい川にやってるのかなと。ただなんとなく勉強会をやりましょうっていう抱負だけで我々は行動してるんだっていう意味じゃなくて、やっぱり中身が大事なんで。せっかくのこれを活かす事が大事なんでね。

我々の八王子から見ればまず本流をどうしたらいいかってことが問題になるわけですよ。それには全然そこに入ってこないわけですね。さきほど山田川の話が出てきましたけれども、私も山田川のね、部分的にはあそこにもう管にしちゃってもいいんじゃないかって部分もありますよ。市営墓地のあの辺はね。そういうところに南口が開発されると、今度はあその少年院、刑務所がなくなりますよね。すると北側の方がずっと開発されるわけですよ。そうするとあの辺の街づくりもずいぶん変わってくるわけですね。そういうとあの川をどうするのいいのかなって。まあいろんな、全体を見ながらまずどこに焦点を絞って、優先順位として進めていくかっていう事も重要じゃないかって思います。

市民委員

だいたい皆さんの意見を踏まえて、もう一つ踏み込んだ形で申し上げようと思うんです

けれども。なんか私が言うちょっとしらけそうな感じがするんですけども。

先ほどどなたかが河川整備計画っていうのがちゃんとあるんだと、それにのっかって南西建であれ国土交通省であれ動いて行くんだっていう事ですね。ですから私、湯殿川とか兵衛川っていうのを見て歩いたんですけども、もうほとんど整備されていますよね。もうほとんど源流に近い所まで行っている。兵衛川もそう、完全にそうでしたね。たとえばそのくらいもうできちゃって、もう今年度ですね、整備計画にのっかってずっと進んでいるわけですから、これからある計画、そしてここで話し合われた事がですね、反映できる事がどのくらいあるのか、まあある事を期待していますけれども、ぜひそれを整備した上でここでどういう河川がね、私ども必要なのかっていうふうにして、具体的に討議されていったらいいのかなって、そんなふうに思います。

座長

はい。整備されている所もあるし、もうなんか多いような気がする、整備計画を皆さんで議論する時にもうちょっと的を絞っておいた方がいいよという事ですかね。

市民委員

これからまだ我々の意見が反映できる余地があるかって。

座長

どうでしょう。事務局の皆さんで、あとありますか。

まあ全体的には河川の連絡会でやっているような、まだ細やかな分科会という前にやるべき事がどうもたくさんありそうで、この行政の方の河川管理者三者が揃うこの会はとても大事で、この場でもうちょっと議論進まなければいけない、その中の中心がどうも整備にかかわる事かなっていうのが、なんとなく多くの意見のような気がするんですけど、いかがでしょうか。

事務局

確かに多自然型、どういうようにしていくのかってその議論も大切だと思います。

たとえば今、南西建で進めています整備ですと、谷地川と湯殿川。湯殿川についてはもう上流まで来ておりますし、谷地川についても半分以上来ています。都市河川という事になりますと、そのエリアといいましょうか、都市計画で幅員が決まっております、その中でしか整備ができないという事がありますから、そこで検討できる事という事になればですね、緑化ブロックといいましょうか、ブロックをどんなものが使えるか、あとは旧川敷をどう活用していくのかとか、その程度といたらおかしいんですけども、その中でまあ多自然に少しでも取り入れられれば、というふうな議論なのかなというように思っております。

で、全川っていうんでしょうか、本流の話という事がございましたが、確かにここには国土省の方も見えられてますし、それから上流になれば八王子市の方でも見えるということもありまして、それから日野市ですね、そのあたりをこの委員会の中でどうしたテーマで議論していくのか、そのあたりももう少し詰めていただけるかなというふうに思っております。ただ今やっている工事の護岸がどうだっという事も重要なんでしょうが、それだけではなくてももう少し河川そのものがですね、流域をどういうふうに、先ほど事務局からもありましたけれども、いくつかのテーマがある中でですね、どう位置づけて検討していくのか、その辺りの議論もしていただけるかなというふうに思っています。

市民委員

ちょっと簡便に質問させていただきます。今お話はわかったんですけども、一つは河川法と河川整備計画。これはあれですか、どちらが優先なんでしょうか。河川法っていうのは、基本の法ですね。それを見ると改正されて住民なり市民の声を聞けというふうな一項が入りましてですね。で、それを整備方針ですか、それにどういうふうに反映させようとしているのか、という事が一つと、それからすでに整備済の先ほどから湯殿川とか上がっていますけれど、そういった整備済のものに対しては、この会でもうどうこう言う事ができないのか、あるいはそういったものを参考にしながら次の機会に改善点を持つてするのか、そのへんをちょっと教えていただければと。

事務局

市民の意見も当然入れながらですね、やっていくということが整備計画であります。ただその中でも河川を整備するにあたってはですね、現在のあります河川敷、それが今度、いま整備をしようとしておりますと河川区域の中ですね、その中でいかに活かしていくかという事になると思います。

市民委員

で、あの狭い範囲でいろんなことを議論するという事になってしまうわけですね。

事務局

もう少し広い、大きい川であればですね、いろいろと検討の余地もあるんでしょうが、それについて市民の意見という事ですね、その整備する所によってその制約って言ったらおかしいんですけども、なかなか意見が反映されると言ったらおかしいんですが、議論をするあれが少ないという事が多分あるというふうに思っています。

市民委員

この前ですね、見た川でたとえば整備済なんですけれども、一応旧河川が埋め立てられ

て脇にあると。で、出口入口がちゃんとあると。そこは花とか草とかこういうふうになっていると。それに対して私の方で申し上げたんですけど、旧河川を活かせないかと。本流は後でいいです、こっちはこっちで昔の自然豊かな河川にできないかと。こういう方がもっと。整備済の所はいじれないという感じがあるでしょうから。

事務局

いや。それはできると思います。今回2回ほどフィールドワークで見させていただきました中で、たとえば谷地川のおそこの道の駅のですね、上流側に旧水を取り込んだワンドというんでしょうか、普通水溜りができるような所を整備した時は、非常に素晴らしいというものだったんですけども、やはり流れが緩やかなものですから、どうしても堆積してしまってますね、そうした所は水が行かなくなってしまう。水が通常ですと低くなった場合にはそこは水が流れなくなってしまう。そうした所はまた堆積しているところですから、栄養がいいものですから、非常に雑草等が生えて、繁生してですね、前回見ていただいた時にはもう、非常にもう藪になっちゃってという事がありましてですね、そうした所もどういうふうに活用していくのか、そうしたところの検討もですね、今後十分にできる話だと思います。

そこのところは行政だけがこうしろとああしろということも含めてですね、また地域住民の方がですね、ああした所をどういうふうに活用した後ですね、維持管理をどうしていくのか、そうしたところも含めて議論していただければ、もっと素晴らしい川にですね、なんて言うか、甦るって言ったらかおかしいんですが出会えると思っています。

いろいろと旧川敷の取り組みの所もですね、いろいろと地で、たとえば湯殿川の方には、旧川になった所を公園にしてしまって、人間が活用しやすいって言ったらかおかしいんですけども、利用しやすいようにだけ作ったところがあれば、谷地川の先ほどの話の所ではそれなりに自然に、河川の中に取り込もうという事で取り組んだ所もありますけれども、なかなかうまく活かされていない、というような所もありますので、どういうふうな形でやっていったら、整備したらいいのか、それとまたあと維持管理をどうしていったらそういったものが保たれるのか、そうしたものも含めてですね、議論していただければ非常に私どもとしても助かるところであります。

市民委員

では整備済のものも議題の対象にしてよいということですね。

市民委員

今の湯殿川の話なんですけれども、例えばそういう引込んだ所が草ぼうぼうになって、みっともないという言われ方もしますけれども、今多自然型、じゃなくて生物多様性っていう問題から見ますと、そういう所は思いっきりいっぱい生物がいるんですから、それだ

け大切にすればいいんじゃないかと。そう私には思えるんですが。水が上がった時には全部その代わり浸かっちゃいますけどね。だからそういう考え方もいいんじゃないかと思えます。

それともう一つ。この間1回目の懇談会で谷地川と湯殿川を見ました。谷地川っていうのは、けっこう流長が13kmぐらいでしょうかね、それで高低差が95mです。それに比べて湯殿川の場合はだいたい、標高が180mくらいから来て出口までの距離が9km。それで落差が92mあるんです。かなりの急流です。それでその川を見て私愕然としたのは、出口の所でいっぱい木が倒れていたんです。いろんな草が引っかかっていますね、汚いとかなんとかおっしゃっていましたが、出口近い部分がなんともすれすれ近くまでゴミが来てるんですよ。ちょっとおっかなかったです。もっと大きなものだったらあそこはどうなっちゃうんでしょうね。という事はできるだけ遊水池的なものを貼り付けるか、それとも山側があるんでしたらそっちまで河川の幅を広げるか、なんかの対策をとらないと、浅川も急流ですけども、その浅川に流れ込む小さな川だったらもっと急流なんですから、いろいろ東京都の管理の中で大変な事ばかりあるとは思いますが、それにしてもあまりにも川幅が狭くかなり直線に近いような形で作られています。これはやっぱりいろいろ考えなければならぬ部分があるんじゃないでしょうか。遊水池という点で。そう思って帰ってきました。

事務局

行政と委員の方とのやりとりというか、これはですね、一つこの行政連絡員はですね、いいかどうかあれなんですけど、今はお答えは対してはなんですけれども、遊水池っていうかワンドというんでしょうかね、そういったところもどういう作りこみがいいのか、思いがいろいろあると思うんですね。この中でもやはり皆さんの意見はさまざまであるでしょうし、そういうものも基本的にはどうまとめていくのか、どうしたらいいのかまとめたただければですね、私どもとしてもそういうものを参考に整備する、あるいは維持管理をしていくということになるかと思うんです。そういうところが重要なのかなって思っています。行政側とのやりとりだけじゃなくて、皆さんの中でも議論が。

それと湯殿川についてですが、確かに急流って言うんでしょうか、谷地に比べては落差が大きく、そのためにかなりの所で落差工を設けてやってきております。湯殿川についてはかなり古くから整備を進めてきているものですから、落差工等の事もいろいろとまあ、なんというのでしょうか、落差が大きすぎてですね、魚道として整備されていないという事ですね。まあ昔は作ったのにそれが崩れてしまっているというような所も、何箇所も見られたと思うんですけども、そうしたのももどういうふうにしていったらいいか、ということも含めて皆さんに議論いただいた中で、出していただければなあというふうに思っております。行政が今回こういうふうにご提案するから、それに対していい悪いということでの ×での議論ではなくてですね。皆さんの中でそれが重要じゃないかと。それがこの

流域連絡会の一番の主旨じゃないかというように思っております。

市民委員

でももう進め方っていうお話なのにすぐずれちゃって、個々のお話になっちゃってるので、これじゃあ全然もう時間が終わってしまうので、議題通りに進めていただきたいんですが。個々のお話にするんだったらそれをもうちょっと大きくして、この川の話とかっていう話は次回の時にしましょうねとか、そういう形ならいいんですが、その話になっちゃうと全然先に進まないです。

座長

はい。今日はできるだけ皆さんのご意見を聞いて、というのを主旨としてやっておりますから、私は割と自由にお聞きをしていますね。その中で違和感がある、ちょっと違うんじゃないという中で元に戻れば、言葉を変えれば段取りとしてこれからテーマは皆さんがお決めになるのか、それとさっき市民委員のおっしゃったように4回もやってるんだから事務局の方である程度整理したら、それなりの議論のテーマが出てくるんじゃないでしょうか、というのも一つの意見で、その時には事務局でそういうふうな段取りを次に取ってもらわなければいけませんし、いやいやこれはちょっと市民の中でもうちょっとテーマを煮詰める、なんというかワーキング部会でも1回やった方がいいよというのであれば、それも一つの答えだろうし、そういう中でもうすぐ4月、次年度になりますので、そういう中でもうそろそろある方向を次のための準備のために出さなきゃいけない時間ですけれどもそういう中で。

市民委員

来年度の工事計画が、八王子市や日野市にもあると思うのですが、それぞれの行政がどのような計画を持って進んでいるのかということ、年度最初の『流域連絡会』に資料として出して頂くと、その年度の大まかな工事計画が判ると思います。私の提案は以上です。

市民委員

具体的な提案になるかどうかは判らないのですが、今日の会議は我々市民の側と行政側で少々すれ違っている感じがします。

我々は今まで1年間やってきた事がどの様に反映されるのかという事を中心に考えているように思います。行政側にもそれはあるのでしょうか、先程のお答えにもあった様に旧河川敷きをどの様に活用していくかといった事を検討してもらいたいという風に考えておられるのではないかと感じます。もうそこで話がすれ違っているんですね。それはどちらも重要な事だと思いますが、どう優先順位をつけるか、どういう形で進めていくのかについての議論は、もう本日は時間もないのでできないだろうと思います。

そこで先程市民委員からのご意見にもありました様に、これからの計画がどうなっているのか、それに護岸ブロックといった我々の意見をどの様に反映させられるのかというのが1点です。

もう1つは行政側から見て放置されている問題について、市民に検討してもらいたいといった問題提起をしてもらったほうがよいのではないのでしょうか。それについて市民側でそれを受けるかについてを議論すればいいのではないのでしょうか。

先ずはこの2つについて次回の『流域連絡会』ではやっていったらいかがかと提案させていただきます。

市民委員

4月5日に『第2回さくら祭り』が市庁舎の前で行われるのですが、そこで浅川をきれいにしようと呼びかけていきたいということで、市長をはじめ教育委員会やJRも一緒になって幅広くやっていきますので、是非ともご参加頂きたいと思います。

座長

基本的には事務局の方で次回の段取りをして頂いて、各行政の来年度の河川工事予定を皆さんに示して頂くのと、これまでの『流域連絡会』における意見のとりまとめをして頂ければ来年度以降のテーマについて議論ができるのではないかという事です。

事務局

確認したいのですが、平成20年度にも各行政から工事予定箇所としてお示ししていると思いますが、それと同様のもので宜しいという事でしょうか。

座長

そういったものの平成21年度のものをご提示頂きたいという事です。

事務局

では、平成21年度の各行政の工事予定箇所の資料と平成20年度に出された意見についてとりまとめた資料をご用意するという事で宜しいでしょうか。

市民委員

それと私が提案させて頂きました、行政側の方からこういった事について『流域連絡会』で議論をして欲しいといった事があれば出してほしいと思います。

事務局

それについてはないと思われま。逆に市民の方々から提案をして頂ければと考えてい

ます。

行政委員・代理

京浜河川事務所ですが、市民の皆さんの要望についてはない訳じゃないと思います。河川整備をするにあたり、護岸工事は治水対策という事で進めさせて頂いていますが、工事はあくまで一時と言いますか、できた護岸を今後皆さんに活用して頂くみたい、河川整備の中には当然護岸等の維持管理といった意味合いも含まれますので、今後どの様に使って頂くかについて、行政側の要望もありますし、逆に「この様にして使いたい」という市民側からの要望もあるでしょうから、そういった事を話題として提供させていただければと思っているのですが。

また、こういった円卓会議でも、ワークショップ形式でも、勉強会でもよいのですが、皆様からの意見を集めるということも大切だと思いますので、是非とも皆さんが意見を出し易い会議にして頂くと思います。

座長

では、次回の『流域連絡会』に関しては、最初は事務局に段取りをしてもらうという事で宜しくお願い致します。

3 その他

座長

では、『3その他』という事で配布資料が2枚ほどお手元に配られていると思いますが、これについて市民委員よりご説明をお願いします。

市民委員

ニュースレターの方は読んで頂いて何かのご参考になればという事で配布させて頂きました。

- 配付資料：『平成21年度 第7回八王子市・日野市浅川同日清掃 浅川クリーンデー』の内容説明 -
- ・『多摩川流域懇談会 浅川部会』の頃より、浅川クリーンデーと言う一斉清掃を行っている。
- ・いつも日野市のクリーンデーに日程を合わせてもらっているのですが、今年は4月19日(日)に実施する。
- ・日野市以外の行政にも支援して頂いており、八王子市は広報に記事を掲載して頂いたり、京浜河川事務所にはゴミ袋や軍手を提供して頂いている。

座長

もう一点、市民委員の方から前回『多自然川づくり基本指針』について話し合う時間をとって欲しいという要望がありました。こちらは事務局にお願いして大丈夫でしょうか。

事務局

市民委員の方からは勉強会がしたいという要望が出ていたと記憶していますので、事務局の方で特に資料を用意するといった認識はなかったのですが。

市民委員

本日は時間もありませんし、この件についてはまた別の機会という事で構いません。

座長

では、他に何かありますでしょうか。

市民委員

もう1点だけお願いです。浅川橋の下流にサイクリング道路が通ってしまっていて、このサイクリング道路を整備する際に要望を出して樹木を残して頂いた箇所があったのですが、11月30日の地元の清掃の時に伐採されてしまいました。カラスの餌やりをする人がいるのでその防止対策としてという事で八王子市にも京浜河川事務所にも了解を得ているという事でほぼ全ての樹木がなくなってしまうました。

それはもう仕方がないとしても、許可を出した際には行政の方にも是非立ち会って頂きたいと思います。こういう事があると市民が勝手に伐採をしてもいいと思ってしまう恐れがあるので、そういった事をきちんと規制しないと、地域住民の意向で無許可でもやってしまうということになるので、その辺についてしっかりやって欲しいと思います。

座長

では、閉会に移りたいと思います。事務局より次回の『流域連絡会』についてお願い致します。

事務局

次回の『流域連絡会』では平成20年度に出たご意見を取りまとめたものと平成21年度の各行政の河川工事予定箇所の資料を用意して、それについて委員の皆様より意見を頂くという事になります。

年間で4回程度開催するという事ですので約3ヶ月に1回という事になりますが、今年度と同様に来年度の最初の『流域連絡会』を6月中旬頃に開催させて頂きたいと思っております。

市民委員

せっかく来年度の工事概要について提示してもらえるので、少しでも『流域連絡会』で出た意見が反映されればと思います。6月ではもう設計が始まっている頃なので要望を取り入れるのは難しいと思いますので、もう少し早いほうがよいと思います。

事務局

4月は人事の関係や会計検査等でどうしてもバタバタしてしまいますので、どんなに早められても5月の中旬という事になってしまうのですが。

座長

5月15日(金)ではいかがでしょう。他の行政の方も大丈夫ですか。

では、5月15日(金)の18:30からこの場所という事で宜しくお願い致します。

4 閉 会

座長

本日は遅くまでご苦勞様でした。ありがとうございました。